平成20、21年度 中期目標の達成状況報告書

平成22年6月
京都工芸繊維大学

目 次

I. 中期目標の達成状況

1 教育に関する目標の達成状況.....	1
2 研究に関する目標の達成状況.....	7
3 社会との連携、国際交流等に関する目標の達成状況.....	9
4 学術情報の集積・発信に関する目標の達成状況.....	11

I. 中期目標の達成状況

1 教育に関する目標の達成状況

中項目	1 教育プログラムの内容と方法に関する目標		
小項目番号	小項目【学部レベル】1	小項目	本学の個性的なマインド(KITマインド)を醸成する科目の整備、提供 ねらい: 本学が21世紀に目指すテクノロジーを築くための土壌となる「科学と芸術の出会い」や歴史都市京都を背景とした感性の育成、更に環境共生マインドなど本学(KIT)の個性的なマインド(KITマインド)の醸成を促す科目を整備、提供する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画	平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。		
小項目番号	小項目【学部レベル】2	小項目	異分野、境界領域等の知識の幅を広げるための科目の提供 ねらい: 人間をとりまく事物・事象を包括的、全体論的に捉え、新たなテクノロジーとして本学が目指すヒューマン・オリエンティッド・テクノロジーの基となる知識の獲得を促す科目を提供する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画	平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。		
小項目番号	小項目【学部レベル】3	小項目	国際的に通用する技術者教育プログラムの提供 ねらい: 世界で活躍できる確かな力量を備えた人材を育成するための教育プログラムを整備、提供する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画	平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。		
小項目番号	小項目【学部レベル】4	小項目	学習目標に沿った体系的教育課程の提供 ねらい: 上記教育目標を効果的に達成するために、現行の教科課程表、授業時間割表を全面的に見直し、整備するとともに、履修計画の参考となる推奨履修メニューを提供する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画	平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。		

小項目番号	小項目【大学院レベル】1	小項目	学部、学内附属教育研究センター等との連携による専門教育効果の増大 ねらい:学部教育から大学院教育まで体系化された教育を進めるとともに、研究の幅を広げ、他専攻の学生や学部生との交流による刺激が得られるよう配慮する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。
小項目番号	小項目【大学院レベル】2	小項目	境界領域や融合領域など新しい学問分野へのチャレンジ精神を高めるための科目の提供 ねらい:ヒューマン・オリエンティッド・テクノロジーに関する研究を促す科目を提供する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。
小項目番号	小項目【大学院レベル】3	小項目	国際的に活躍できる技術者・研究者の養成 ねらい:コミュニケーション能力と国際的視野を向上させる教育を実践する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
下記以外の 中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。
計画3-3	ITを活用して、国内外教育研究機関との相互教育交流を推進する。		テレビ会議システムの運用について、これまでに実施した大韓民国・嶺南大学に引き続き、平成20年度において、6月にタイ王国・チュラロンコン大学との実験交信を行った上で(別添資料1参照)、21年3月に双方合計10名の造形デザイン分野の教員が教育研究に係る協議を行った。更に可動式機器の購入や、学内LANの整備、センターホールや講義室等へのテレビ会議システム設置を進めた。 平成21年度には、日本学術振興会若手研究者交流支援事業として5~9月にかけて実施した「歴史遺産と現代生活の調和-タイ王国におけるマネジメント戦略の構築に向けて」において、招聘研究者候補者の面接のため、チュラロンコン大学と本学の間で会議システムによる交信を行った。 国内においては、国公私立4大学連携により展開しているGPプログラムや、包括協定を締結している京丹後市との連携において、上記システムを活用した。
小項目番号	小項目【大学院レベル】4	小項目	高度専門職業人の養成と社会人ブラッシュアップ教育の充実 ねらい:社会的要請の強い分野の高度専門職業人養成に特化した修士課程の設置を図る。また、既設の課程においても社会人学生への教育サービスを充実させる施策を実施する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

中項目	2 実施体制、学習環境の整備に関する目標		
-----	----------------------	--	--

小項目番号	小項目1	小項目	「総合教育センター」の設置 ねらい:教育の評価・点検を常にフィードバックしつつ、教育プログラムなどの企画・立案を機動的に行い全学共通科目(人間教養科目、言語教育科目など)、専門基礎科目、大学院共通科目及び公開講座・リフレッシュ教育などの実施責任を負う。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画	平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。		

小項目番号	小項目2	小項目	学習環境の整備 ねらい:学習効果を高め、学生サービスの充実を一層図るため、キャンパス環境を整備する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画	平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。		

中項目		3 学生支援に関する目標	
小項目番号	小項目1	小項目	「学生支援センター」の設置 ねらい:学生が心身ともに健康を保ち、十分な学習意欲を維持できるようきめ細かな指導や情報の提供など、学生のニーズに対応した支援を充実する。また卒業後の将来展望の構築を支援し、学生の自己実現の可能性の拡大を促進する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。
小項目番号	小項目2	小項目	メンター(助言者)制の導入 ねらい:学生の生活・学習指導を学生支援センターと連携して行う。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。
小項目番号	小項目3	小項目	就職支援の改善と充実 ねらい:学生支援センターによる学生への就職支援機能をより充実させるとともに、企業との情報交換を促進する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。
小項目番号	小項目4	小項目	卒業生との連携の強化 ねらい:社会に送り出してきた多くの卒業生との連携を深め、これまで以上に学内事業への支援や就職支援、教育プログラムの評価などの協力を得ることで、より充実した学生生活の構築に資する。また、一方で卒業生が大学との関係をより緊密に保つことで、卒業後も大学での研究状況、人材育成状況などの情報が的確に得られる体制を整備する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

中項目	4 入学試験と入学前学生への教育支援に関する目標		
小項目番号	小項目1	小項目	新たな機能を有する「アドミッションセンター」の設置 ねらい: 本学のマインドと本学が目指すヒューマン・オリエンティッド・テクノロジーの実現に興味を持ち、学ぶ意欲にあふれ、大学教育に必要な基礎学力と潜在的能力を有する学生を選抜するための入試の工夫・改善を行う。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。
小項目番号	小項目2	小項目	大学院博士前期課程における入試の多様化 ねらい: 社会の高度情報化、多様化に伴う専門技術者教育の要請に速やかに対応するために、入学機会を増やすとともに、社会人入学、留学生入学を充実させる。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

中項目		5 地域社会への教育貢献に関する目標	
小項目番号	小項目1	小項目	生涯学習・リフレッシュ教育の推進 ねらい:地域にとけ込む大学として公開講座、市民講座等を通して生涯学習・リフレッシュ教育を推進し、併せて中高生等への体験学習の開催等により次世代を担う青少年に対して、科学技術への関心を啓発する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。
小項目番号	小項目2	小項目	特色ある学内共同利用施設の公開と市民講座・シンポジウム等の開催 ねらい:従来から実施している、市民への施設の公開や公開講座などを一層活発化させるとともに、独自の展覧会や研究成果公開シンポジウムなどを積極的に開催する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。
小項目番号	小項目3	小項目	高大連携教育の推進 ねらい:高校教育から大学教育への円滑な移行と大学教育の改革に資するため、高大連携を推進する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

2 研究に関する目標の達成状況

中項目	1 特色ある研究の重点的推進に関する目標		
小項目番号	小項目1	小項目	重点領域研究の推進 ねらい: ヒューマン・オリエンティッド・テクノロジーの確立に必要な重点領域研究及び新たな重点領域研究を支援、推進する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画	平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。		
小項目番号	小項目2	小項目	「新しい研究の芽」の育成 ねらい: 科学と芸術・環境共生マインドなどに基づく異分野融合によるヒューマン・オリエンティッド・テクノロジーの開拓を目指した新しい研究の芽を重点的に育成する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画	平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。		
小項目番号	小項目3	小項目	国際研究拠点の形成 ねらい: 社会の要請に応じた高度な研究を展開し、ヒューマン・オリエンティッド・テクノロジーの分野で国際研究拠点の形成に向けた戦略を構築する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画	平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。		
小項目番号	小項目4	小項目	研究水準・成果の不断の検証 ねらい: 研究に関する目標を達成するため、定期的に研究水準及び成果の検証を行い、研究の質の向上を図る。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画	平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。		

中項目		2 研究実施体制等の整備に関する目標	
小項目番号	小項目1	小項目	研究組織の柔構造化 ねらい: 社会のニーズに応じた研究の展開や重点領域研究の推進並びに新領域の創出を可能とするため、研究実施体制や研究支援体制の柔構造化を図る。
計画番号	中期計画	平成20年度及び21年度における実施状況	
全中期計画		平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。	
小項目番号	小項目2	小項目	研究基盤の計画的整備 ねらい: 研究施設や設備等の効率的・効果的な利用及び計画的な整備を図り、研究環境の充実・強化を図る。
計画番号	中期計画	平成20年度及び21年度における実施状況	
全中期計画		平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。	
小項目番号	小項目3	小項目	客観的で公正な評価による競争原理の徹底 ねらい: 競争原理に基づく公正で客観的な研究成果の評価により、同評価結果を反映した研究費配分等、研究の更なる活性化と質の改善を図る。
計画番号	中期計画	平成20年度及び21年度における実施状況	
全中期計画		平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。	

3 社会との連携、国際交流等に関する目標の達成状況

中項目	1 産官（公）学連携の推進及び知的財産の形成に関する目標		
小項目番号	小項目1	小項目	全学的・組織的で機動性ある産官(公)学連携の推進 ねらい: 地域等のニーズと本学が有するシーズがマッチした産官(公)学の連携による社会貢献・地域貢献を積極的に推進するとともに、ベンチャーの起業を支援する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。
小項目番号	小項目2	小項目	知的財産本部機能の整備 ねらい: 学内の知的資源を財産化し、その運用管理を含めてマネジメントする総合的な知的財産本部機能を有する組織を整備し、知的財産戦略を構築する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
下記以外の 中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。
計画2-1	学外TLOや弁理士会等との連携も視野に入れつつ、知的財産本部機能を有する組織を整備する。		産学官連携機能強化のため、これまで法人組織に設置されていた知的財産本部を大学側に移し、名称も「知的財産センター」に改めた。 さらにこの知的財産センターに、これまで産学官連携推進機構として存在した地域共同研究センター、大学院ベンチャー・ラボラトリー、インキュベーションセンターを加えた4組織を1つにまとめて産学官連携推進本部を設置し、その中に知的財産センター、創造連携センター、ベンチャーラボラトリーとして再配置した。産学官連携推進本部の設置により、これまで分散していた知的財産及び産学官連携に関わる機能を統合、強化するとともに、窓口のワンストップ化が実現した。 新組織発足前の平成20年度と比較して、発足後の平成21年度には、受託研究の件数及び金額、科学技術相談の件数、「知のシーズ集」掲載件数、萌芽研究を育成する本学独自プロジェクトにおける採択件数が明らかに伸びた(別添資料2)。

中項目		2 国際交流の推進に関する目標	
小項目番号	小項目1	小項目	国際交流推進体制の構築 ねらい:長期ビジョンに掲げる「国際的工科系大学」の実現に向けて、国際交流全般について総合的に企画・推進する体制を構築する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。
小項目番号	小項目2	小項目	若手人材の重点的育成 ねらい:本学学生や本学の将来を担う若手研究者に対し、国際的な経験を積む機会を積極的に提供し、世界で活躍できる人材の育成に資する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。
小項目番号	小項目3	小項目	教育研究協力事業の重点的推進 ねらい:協定大学等との組織的、継続的な教育研究協力事業を展開する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

4 学術情報の集積・発信に関する目標の達成状況

中項目	1 学術情報の集積・発信に関する目標		
小項目番号	小項目1	小項目	学術情報集積・発信機能の整備 ねらい:全学的な情報基盤の上に総合的な学術情報集積・発信機能を整備することによって本学の学術関連活動を顕在化させ、学生・教員の自由な発想と創造性を刺激すると同時に、研究活動の競争的側面を支援する情報環境づくりを行う。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画	平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。		